



議会だより



雨の中の騎馬戦

～いなわしろスポーツフェスティバル～

令和7年9月定例会・臨時会

あらし・決算状況	2
予算決算審査特別委員会・監査委員の意見	4
予算決算審査特別委員会・議案審議・人事案件	6
請願・陳情・臨時会・議長杯結果・一般質問目次	8
一般質問 8人が登壇	10
委員会レポート・広域議会報告	18
わたしたちの町（猪苗代高等学校）	20



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



マチイロ



Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>



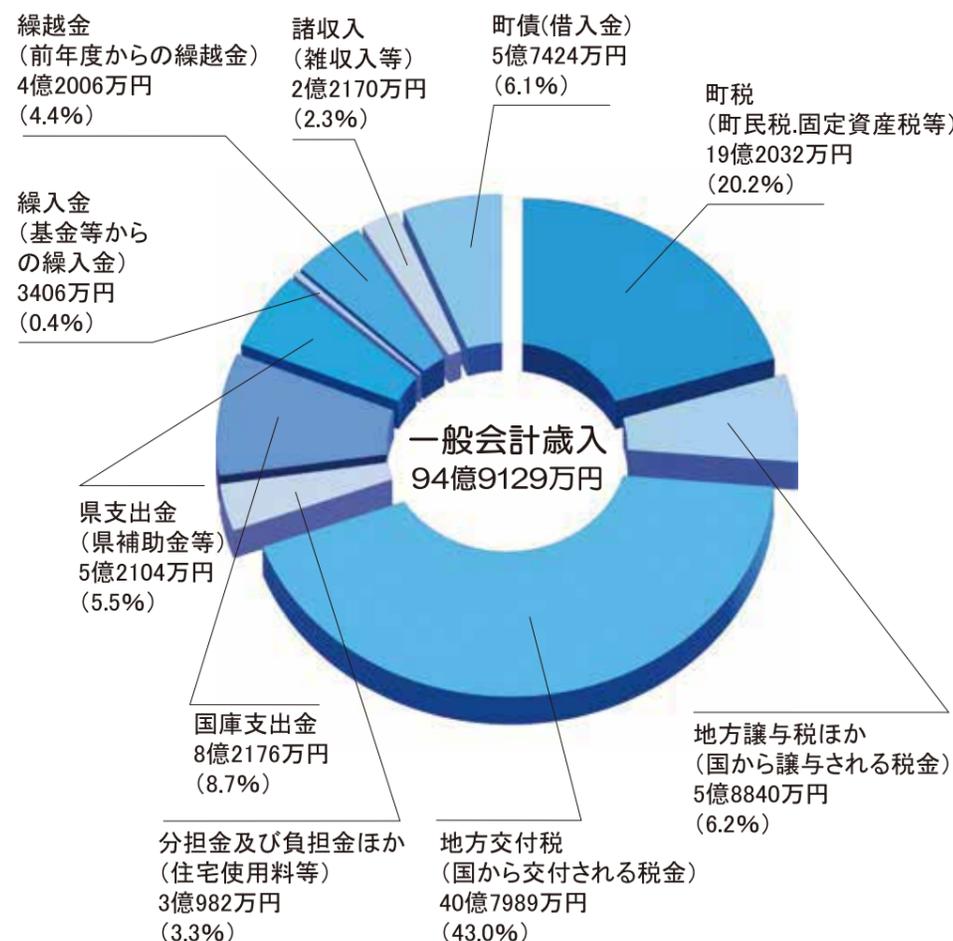
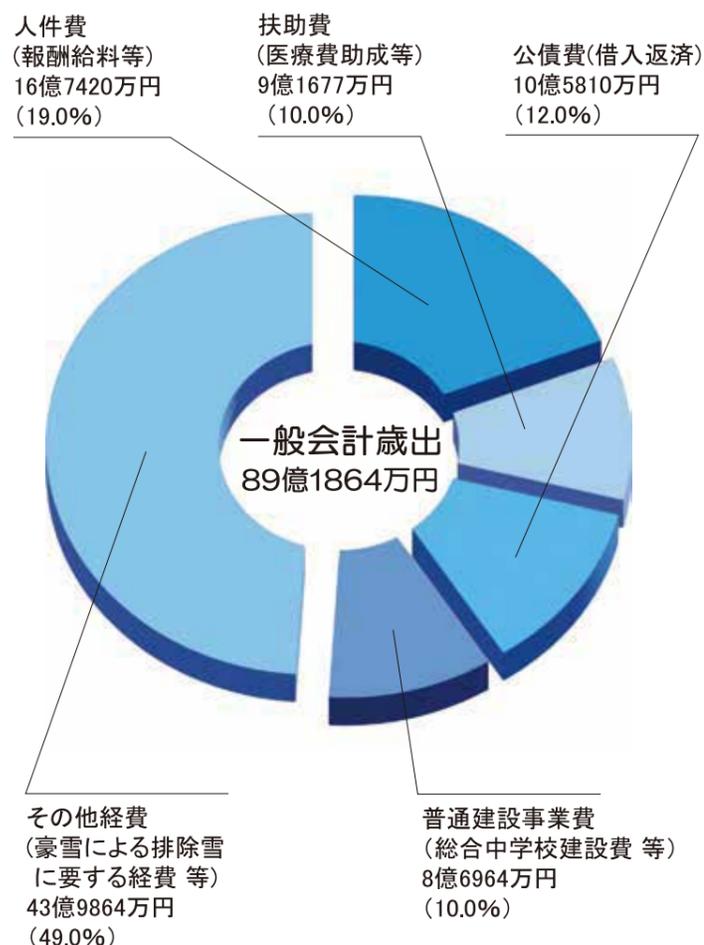
9月定例会

令和6年度 決算を認定

町民一人当たり
718,377円を
使いました
(前年比 23,947円減)

議会費	7,971円
総務費	92,657円
民生費	139,181円
衛生費	44,455円
農林水産業費	44,815円
商工費	38,529円
土木費	130,806円
消防費	33,083円
教育費	101,549円
災害復旧費	104円
公債費	85,227円

※令和7年3月末人口12,415人で算定



あらまし
9月定例会は、9月2日から12日まで開催されました。町長から提出された議案は、専決処分の報告1件、債権放棄の報告1件、令和6年度決算認定4件、7年度補正予算10件、条例の一部改正7件、人事案件3件であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。一般質問は8人の議員により行われました。

財政力指数とは？

1に近く1を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、75%以下が望ましいとされている。

実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、25%で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であることを表す割合で、350%で早期健全化に該当するとされている。

令和6年度末 町債 残高

一般会計81億2914万円 (前年比 4億5449万円減)

※町債→大きな事業をするために借入れるお金のこと。

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
財政力指数	0.373	0.370	0.373
経常収支比率	91.0	91.5	88.6
実質公債費比率	9.5	9.7	10.0
将来負担比率	27.5	28.6	27.7

令和6年度 会計別決算額

会 計		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		94億9129万円	89億1864万円
特別会計	国民健康保険	14億9658万円	14億6809万円
	後期高齢者医療	2億2044万円	2億1946万円
	介護保険	19億40万円	18億2326万円
病院会計	収益的収支	8909万円	8921万円
	資本的収支	4045万円	4045万円
水道会計	収益的収支	3億7425万円	3億1068万円
	資本的収支	8251万円	2億4283万円
下水道会計	収益的収支	6億1775万円	6億4316万円
	資本的収支	3億139万円	4億7111万円

※単位未満の端数切り捨て。

※財産区特別会計の決算額については省略。

議長を除く12人の委員で、令和6年度決算を4件、令和7年度補正予算10件を審査しました。

令和6年度決算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問 個人町民税の増額は。

答 米価の上昇による農業所得の増と、個人の給与所得の増。

問 法人税の減額は。

答 法人が前年度より7社減少し、法人税割（利益に対して課税される税）が、農業、医療、福祉業で増加したが、建設業、小売業で減少した。

問 入湯税の増額は。

答 町を訪れる観光客が増し、増収率7・88%。

問 固定資産税滞納繰越分の徴収努力は。

答 預金調査や税務署にて申告書等の閲覧、キュピットリング（電子による調査）の手法を数年前から導入し、徴収している。

《地方交付税》

問 地方交付税の増額は。

答 普通交付税は、スクールバスや会計年度任用職員の勤勉手当の増等で9137万1000円の増。特別交付税は、除排雪や地域活性化起業者の受け入れ等に要する経費の増等で2億7658万9000円の増。

《財産収入》

問 ㈱DMC aizuの建物貸付収入の内容は。

答 場所は、旧東中学校で期間は、令和7年1月1日から3月末まで。期間中の決算金額は、118万円。

《諸収入》

問 不能欠損の内容は。

答 土地賃貸借の契約を締結していた(株)いなわしろリゾートが破産したため、2年分の未納分23万8640円を不能欠損とした。

《使用料及び手数料》

問 住宅使用料の収入未済額の増額は。

答 これまで滞納したことのない方が、物価上昇の影響により、町営住宅で18名、町設住宅で1名、計19名が新たに滞納するようになった。

《寄附金》

問 ふるさと納税寄附金の増額の要因は。

答 地域おこし協力隊の導入により、返礼品の開拓や試作品を抽出することができた。また、新規事業者の参加や新規返礼品の登録があったため。



返礼品のお米

歳出

《総務費》

問 横向き高原リゾート(株)再建に向けての弁護士委託事業1114万円の内訳は。

答 着手金517万円、顧問料165万円、交通費や財務調査費用432万円。

問 人件費の増額は。

答 大きく分けて3つの要因がある。

①職員の人件費：県の入院勧告に準拠し、全ての給与額の引上げを行った。

②会計年度任用職員の人件費：県の入院勧告に準拠し、勤勉手当を支給。

③共済費：職員及び会計年度任用職員の給料、期末手当の引上げに合わせて増額3つ合わせて、約1億の増。

《民生費》

問 低所得者のひとり暮らし老人に対する携帯用無線送受信機等の貸付条件は。

答 申請があった際に、年齢や所得要件等に合致した方に対して利用を決定する。

《衛生費》

問 廃プラスチックの再資源化事業の業務委託内容は。

答 引き取り業者に委託し、実績で商品プラスチック33・55トン。金額で166万2000円。

《農林水産業費》

問 繰越明許費2億8300万円の内容は。

答 令和7年2月の大雪によるパイプハウスの被害のための補助費。

問 稚魚放流事業補助は。

答 秋本湖の漁業協同組合が、アカハラ等の稚魚を放流している。

《商工費》

問 野口英世博士顕彰&SNSプロモーションの事業内容とその成果は。

答 野口英世のSNSを活用し、フォトコンテストを実施。電子データを実践して今後活かせるような活動を行った。

令和6年度 一般会計決算等の意見（抜粋）

【審査の対象】

令和6年度の一般会計及び特別会計（7会計）の歳入歳出決算と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算について審査した。

審査事項の主な内容とその意見については、以下のとおりである。

【決算の規模】

一般会計が前年度比で歳入3.4%、歳出5.2%それぞれ減少、特別会計では前年度比で歳入1.9%、歳出0.6%それぞれ増加した。

また、病院事業会計は、事業収益が前年度比5.4%の減、事業費用が前年度比1.8%の減となり、水道事業会計は、事業収益が前年度比4.0%の増、事業費用が前年度比8.6%の減となり、下水道事業会計は、事業収益が前年度比2.0%の減、事業費用が前年度比0.9%の増となった。

【町債】

前年度末と比べて一般会計が4億5449万5千円の減となった。公共事業債をはじめとした各種事業債で減少したが、一般単独事業債、過疎対策事業債が増加となった。

【基金】

財政調整基金に6860万4千円、森林環境譲与税基金に1903万4千円を積み立てた。教育施設整備等基金は276万3千円を積み立て、教育委員会所管中型バス及び給食配送車購入等に係る財源措置として3285万9千円を取り崩した。この結果、前年度末に比べ全体で3983万2千円の増となった。

【意見】

審査に付された決算書及び報告書はいずれも関係法令等に基づいて作成されており、会計経理は正確である。また、予算の執行についても有効適正になされているものと認められた。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政健全化審査については、実質公債費比率、将来負担比率ともこの基準において本町は「健全段階」に位置付けられる。

今後も一層の財政の健全化に努めながら、町民福祉の増進に向けた取組みがなされるよう望み、審査の意見とする。

監査委員 佐賀 要 一
監査委員 山内 浩 二



問 乳幼児紙おむつ等給付券支給事業の効果は。

答 759名に給付券を配布し、98%の使用率があった。

令和7年度補正予算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問 個人町民税6300万円の増額は。

答 給与所得の増と米価が前年比1・82倍に上昇したことによる農業所得の増。

《使用料及び手数料》

問 行政財産使用料の内容は。歴史的民俗資料館の南側園庭の使用料。町発注の、古城町地内の排水管の布設替え工事で、資材置き場として利用。

《県支出金》

問 妊婦に優しい遠方出産事業補助金の遠方の基準は。

答 分娩取り扱い施設まで、おおむね60分以上の移動時間を要する場合。なお、里帰り出産も補助の対象。

《財産収入》

問 旧東中学校及び吾妻中学校の土地賃貸借による土地貸付収入の増は。

答 敷地内にある電柱敷地料の計上漏れ。
旧東中学校に、N T T 東日本㈱の電柱11本分。両校に、東北電力㈱の電柱11本分。

《諸収入》

問 東京電力H D ㈱の賠償金6万円とは。
答 中ノ沢保育所の除染費用。請求額に対して満額。

歳出

《総務費》

問 扶助費の内容と配分は。

答 犯罪被害者等支援条例に基づく、見舞金等の支給。県の補助金は、見舞金1件30万円、重傷病見舞金1件15万円、転居費用助成金1件10万円。
町独自に、同額を上乗せして支給する予定。

問 N H K 受信料の内容は。

答 公用車のテレビ受信機能付きカーナビのN H K 受信料の請求。金額は、設置日から令和6年度までの使用分で43万3845円。令和7年4月分の3万6828円で、合計47万673円。

《民生費》

問 猪苗代小学校児童クラブの雪囲いは、どの部分に行うのか。

答 2棟全部の窓に雪囲いを設置し、冬期間、壁に金具を取り付けて板をはめ込む形で対応する予定。

《衛生費》

問 廃食用油回収事業とは。

答 家庭から排出される廃食用油のリサイクル事業で、昨年度からひまわりこども園で試験的に実施した。今年11月からは、リオンドール店内の休憩スペースと役場庁舎の正面玄関に、回収用コンテナを設置予定。



廃油回収用コンテナ (ひまわりこども園)

《農林水産業費》

問 林業振興費の内容は。
答 クマ等が住宅地等に侵入した際、緊急銃猟に伴い発生する損失について、市町村の保証を補填するための保険料。

《土木費》

問 体験交流館管理費の光熱水費の増は。

答 昨年度より、ホールの利用者数が約4200名増。今夏の猛暑によるエアコン稼働率の増。

《教育費》

問 教育事業補助費240万円の減は。

答 猪苗代高校広域入学生10万円×2年分の家賃補助。入学生0名のため。

議案の審議

「猪苗代町税条例の一部を改正する条例」

固定資産税の納期前納付に係る前納報奨金を廃止するため、条例を改正する。

【主な質疑】

問 令和6年度の報奨金は。答 4310件で、705万9090円。

問 物価高等の非常に苦しい状況にある中、なぜ今の時期に報奨金を廃止するのか。
答 昭和25年に制度が設立し、75年経った現在、納税意識の高揚と地方財政の安定の目的は達成された。

資力のある納税者しか利用できない不公平な報奨金を廃止し、限られた財源を全体の住民の福祉に利用することが、納税者間の公平かつ最良の選択であると判断したため。

反対討論

【渡辺 真一郎】

猪苗代町の土地の評価額は非常に高く、収入がなくても課税される。物価高の今、前納報奨金制度を利用して節税されている方も多いため、廃止には反対。

【瀧田 勝昭】

町は、町民税と固定資産税の前納報奨金の廃止の時期を変えるという理屈に合わないことをやっている。物価高により生活が非常に困窮している状況の中で、あえて今の時期を選ぶことは、本当に苦しい方々に寄り添っているとはとても思えない。町の不作為による報奨金廃止には反対。

賛成討論

【関沢 和人】

一括で納めたくてもできない方もいるため、納税者の公平化を図るため制度廃止に賛成。

【五十嵐 ミエ子】

前納した方も、後納した方も等しく納付するという公平性の観点から賛成。

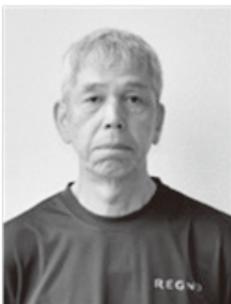
【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
猪苗代町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×	欠	○	×	○	○	×	議	可決

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」同数の場合には議長が採決に加わる。

人権擁護委員の推薦について意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、阿部 荘一郎氏を推薦することに異議がない旨、答申しました。任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日。



阿部 荘一郎 氏 (酸川野)

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」
星孝典氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和11年9月30日。



星 孝典 氏 (名古屋町)

猪苗代町教育委員会教育長の同意

「猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて」
佐藤隆宏氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和10年9月30日。



佐藤 隆宏 氏 (樋ノ口)

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

渡辺 真一郎⑩
農地の現状と農業の振興

大高 佐代美⑪
在宅医療

五十嵐 ミエ子⑫
0歳から2歳までの保育料無償化

瀧田 勝昭⑬
学力・学習状況調査

長友 海夢⑭
移住定住の推進体制と受入環境の整備

安齋 浩明⑮
観光振興対策

鈴木 元⑯
ごみ減量化対策

長澤 操⑰
箕輪スキー場の再開は

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

YouTube 配信中！

猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信と、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。各ページのQRコードをご利用ください。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

議長杯グランド・ゴルフ大会

8月22日、晴天の中、31名が参加し開催されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【男子の部】1位 服部恒夫、2位 松坂富夫、3位 渡部良則、4位 渡部和吉、5位 村澤豊
【女子の部】1位 櫻田モト、2位 服部みつ江、3位 渡部久實子、4位 晴山洋子、5位 長命キミ子



議長杯ゲートボール大会

9月30日、秋晴れの中、6チームが参加し開催されました。優勝は「小澤孝雄チーム」準優勝は「宇南山一栄チーム」です。



～請願・陳情の手続きについて～

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。

日本語で

- 1.提出年月日
- 2.請願者・陳情者の住所
- 3.請願者・陳情者の氏名
法人の場合は「名称」「代表者氏名」
- 4.請願者・陳情者の電話番号
- 5.紹介議員名(請願のみ。陳情は不要)
- 6.請願・陳情の趣旨

を記載し、「押印」のうえ議長宛に提出して下さい。
なお、必要に応じて現場の案内図、現場写真、意見書(案)などを添付してください。

申請書・陳情書の様式に決まりはありませんが、記載例などをホームページに掲載しています



あなたの声を審議しました

9月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
	請願者・陳情者の氏名			
陳情 第2号	東南真行地区町道舗装等についての陳情	五十嵐ミエ子	経済厚生 常任委員会	採択
	東南真行区長 鈴木 良一			
請願 第7号	米の安定供給等を求める意見書の提出についての請願	五十嵐ミエ子	経済厚生 常任委員会	不採択
	会津農民運動連合 会長 菅沼 弘志			

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
東南真行地区町道舗装等についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	採択
米の安定供給等を求める意見書の提出についての請願	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	○	×	×	議	不採択

※賛成「○」、反対「×」、議長「議」、欠席「欠」同数の場合には議長が採決に加わる。

請願・陳情
臨時会

米の安定供給等を求める意見書の提出についての請願

国は米の増産に踏み切ることを表明したが、従来の政策の延長にとどまっているため、農家の収入を支え、国民の食糧を守る政策を求める意見書を提出する。

反対討論！

【山内 浩二】
本町の農業は、全国農業協同組合で運営しており、農業者の生産力を向上するためにサポートを行っているのが実態であることから反対。

賛成討論！

【五十嵐 ミエ子】
今求められるのは、米の政策を転換することだ。また、農家が安心して米作りに励める条件を国の責任で整えることが必要である。小規模農家も含めて、農家を守るためにも、地方から声を上げていくべきなので賛成。



臨時会 (8月5日)

あらまし

令和7年第6回臨時会が開催されました。
町長から提出された議案は、一般会計補正予算1件、工事請負契約の締結1件で、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。

【審議した主な議案】

○猪苗代小学校屋内運動場特定天井改修工事請負契約の締結

猪苗代小学校屋内運動場の地震対策として天井改修工事を行うとともに、LED照明への取替工事を行うための工事請負契約。

◎ 契約金額 1億2100万円

【主な質疑】

問 工期はいつまでか。また、体育館を使用できない間の対策は。

答 工期は令和8年2月20日、その間は体育館等を使用できないため、カメリーナのサブアリーナをメインに調整する予定。なお、秋口の発表会等にも支障がないよう検討中。

議長杯結果
一般質問目次



わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎



動画はこちら

Q. 遊休農地で有機農業の推進を
A. 系統出荷が主で難しい



どのように活かす耕作放棄地

有機農業の生産から消費まで一貫し地区内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める自治体。

（※）オーガニックブレッジとは

【質問】町内の遊休農地面積は。
【農林課長】23ヘクタール全体の0・7%で月輪地区に多い。利用の相談があれば支援する。
【質問】有機農業の経営体数は。また、オーガニックブレッジ（※）の参加検討は。
【農林課長】620経営体に34。オーガニックブレッジ参加は検討しなかった。

【質問】有機栽培農作物のニーズは高まっている。猪苗代湖の水質保全のためにも農薬、化学肥料を抑制した農業の推進を県に進言すべきでは。
【農林課長】県でも推進計画があり、話をする。

Q. 若い人へのSNS規制が必要では
A. 国内の動向を注視している

【質問】子供のSNS使用状況は。
【教育総務課長】中学生で一日3時間以上。平日は21%で、休日は51%。
【質問】GIGAスクール構想は失敗だったのでは。
【教育総務課長】ICT機器による学力低下の影響は、現時点で不明である。
【質問】AIにできない能力を育てるためには、読書が大事なのは。
【教育総務課長】極めて重要と認識している。家庭、学校一体となって読書習慣を育む。
【質問】読書量は減少しているか。
【教育総務課長】減少している。増やすため各学校に司書を配置し、わくわくブック運動を推進している。

Q. 人口減少で用途地域見直しは
A. 町民の意見を基に見直す

【質問】決められた用途地域と実態は大きくずれているのでは。
【建設課長】決定した時期の人口の63%で計画通りではない。
【質問】川桁地区は用途地域から外してはどうか。
【建設課長】アンケートや検討委員会の意見により見直したい。
【質問】都市計画道の縮小、廃止はあったのか。
【建設課長】幅員の修正はあるが廃止はない。
【質問】南部地区計画の進行はどうか。
【建設課長】猪苗代中央線付近は進んでいるが、千代田線は未整備である。

Q. 買い物支援相談窓口の統一は
A. 窓口は多い方が良いと考える

【質問】買い物支援の現状は。
【保健福祉課長】社会福祉協議会での買い物バスツアーの他、デマンドタクシーや乗り合いタクシーがある。
【質問】自宅がバス停の近くであるためデマンドタクシーを利用できない方がいる。バスでは荷物運びに不便さもあるが、対応は。
【保健福祉課長】シルバー人材センターに委託している在宅高齢者軽度生活援助事業の中で、家事の補助や買い物サービスの提供がある。
【質問】買物支援の様々な条件を撤廃し、登録制度にして買物代行を拡充することも必要だと考えるが。
【保健福祉課長】タクシー券の交付も選択肢の一つと考えるが、まずは今の取り組みを進め、地域の方々が協力しながら支え合える環境を整備していきたい。



Q. 在宅医療の広域利用の町民への周知は
A. 地域包括支援センターにお願いする



おおたか さよみ
大高 佐代美



動画はこちら

【質問】在宅医療に対する基本的な考え方は。
【保健福祉課長】近年、長期入院は縮小され、高齢化に伴い施設入所も困難となっている。そのため、在宅医療は益々重視され、定着していくと考える。住み慣れた地域で安心して療養生活を続けられるよう、医療と介護を連携した体制づくりが必要と考える。
【質問】町内の在宅医療機関は。一か所である。過不足をどう考えるか。
【保健福祉課長】医師不足や働き方改革により、通常の診療に加えて、在宅医療に取り組む医療機関が少ないためと思われる。今後医師の高齢化により、現状の医療体制を維持できなくなるかと推測される。町単独では解決出来ない問題で、広域的に考える必要がある。

【質問】在宅医療を受ける患者の選択余地を増やすための取り組みは。
【保健福祉課長】近隣自治体や基幹病院、地域の診療所、地域包括支援センターと連携し在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。他業種の参加を促し、切れ目ない体制づくりに取り組む。

【質問】緊急医療体制の確立を図るべく基幹病院と町立病院の進捗状況は。
【保健福祉課長】快方期には基幹病院から受け入れ入院体制は整えているが、指定管理の次期協定に向けた協議の中で、改めて確認していく。

会津ホームケアクリニック
10月1日開院（患者依頼は受付開始しています。急ぎの方は9月中の診療開始可能ですので御相談ください。）
在宅医療専門（訪問エリアは別紙にてご案内します）
■これまでとこれから
■利用イメージ
■特徴
■医療費・利用相談
■お問い合わせ先

新たに開業した医療機関



たきた かつあき
瀧田 勝昭



動画はこちら

Q. 学校で、より学力向上を図る取り組みは
A. 小・中連携型のカリキュラムで子どもの夢をかなえたい

【質問】全国学力テストの分析結果、学力は低下傾向が続いている。本町の小・中学生の学力の分析は。
【教育長】令和7年度全国学力・学習状況調査で、小学校は、国語、算数、理科の全教科で、全国平均、県平均を下回る。中学校でも、国語、数学、理科の全教科で、全国平均、県平均を下回る結果となった。
日常生活の中でいろんな物事を計画する力、人と関わる関係する力、また、自分の思い、願いを人に伝えるような、そういった力が弱いというような分析がある。
これまでも各種取組を実施してきたが、さらなる学力向上に向けた施策が必要である。



元気に学ぶ子どもたち

【質問】学力向上のため自治体や地域で取り組むことは。
【教育長】少子化に伴って教員の数も減り、本当に地域の力、地域のマンパワーも含めて必要な時代になった。
学校、地域、家庭をつなぐ連携強化と、町にある資源、教育資源、高校、企業の方々の実践的な交流の場を設けながら幅広い形で地域社会が学びを支える仕組みになるよう我々も努力してつないでいきたい。



いがらし
五十嵐ミエ子



動画はこちら

Q. 0歳から2歳までの保育料の無償化は
A. 少子化対策として重要なものと認識している

【質問】0歳から2歳児の無償化対象は住民税非課税世帯に限定されているが、仕組みは。
【子ども課長】保護者の所得状況などに応じ、国が定める利用者負担額の上限額を基準として、実施自治体である各市町村が実情に合った金額を定める。
町では、保育料の区分を国基準8階層に対し7階層として設定している。
【質問】0歳から2歳児までの保育料の現状は。
【子ども課長】対象者は74名で、保育料の合計は、195万3610円。保育料の軽減は、ひとり親世帯や兄弟のいる多子世帯延べ45名に対し、合計89万1190円の保育料の軽減を行っている。



0歳児のお昼ご飯

【質問】全世帯を対象とした無償化の導入は。
【子ども課長】町は、生活保護世帯及び住民税非課税世帯の無償化の軽減措置を行っており、現在の予定はない。
【質問】今後の保育料無償化については。
【町長】近隣市町村の動向などを考慮し、調査した上で対応してまいりたい。

Q. 補聴器購入助成制度の創設の考えは
A. 今後、他市町村の取り組みを調査する

【質問】加齢性難聴者の方の割合など、実態を把握されているのか。
【保健福祉課長】本町では、加齢性による難聴の方の実態調査は行っていない。
現在町では、身体障害者で身体障害者手帳をお持ちの方に対して、障害者総合支援法に基づいて、補聴器の製作及び修理に係る補装具費の支給をしている。補装具費として補聴器を製作された方は、令和6年度で7名。
【質問】特定健診に聴力検査を加えることは。
【保健福祉課長】総合健診は、法令に基づき定められた検査項目を基本として実施している。今後、聴力検査を実施する予定はない。



【質問】加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設をすべきと考えるが。
【保健福祉課長】加齢性難聴者への補聴器購入の助成制度に取り組んでいる市町村があると認識している。
現在のところ町では、補聴器購入制度の創設は考えていない。今後、他市町村の取り組み状況なども調査してまいりたい。

Q. 関係人口の増加は
A. 関係人口を重要視、定住の増加を図る

【質問】地方創生2・0基本構想で、人や企業の地方分散を進めるために関係人口の量的拡大、質的向上とある。町にとって関係人口とは。
【企画財務課長】関係人口とは、観光以上移住未満と捉えており、観光や通勤、通学など一時的な目的で本町を訪れる人を指す、交流人口とは違い、本町に居住はしていないが、ふるさと納税、イベント、ボランティア参加を通じて、継続的に関わるなど、本町に愛着を持っている方であり、地域との関わりが強い人というふうによく捉えている。

【質問】観光地の取組で交流人口を増やし、関係人口を増やす努力は。
【商工観光課長】観光来町が地域の方々と何らかか交流をし、その方たちと猪苗代を考え、自分たちのライフワークとして取り組める魅力ある様々な切り口から提案をしていきたい。



県民参加のクリーンアップ作戦



あんだい 安齋 ひろあき 浩明



動画はこちら



ラムサール条約登録の猪苗代湖

Q. 観光振興対策は A. 観光協会を地域づくり法人(DMO)に登録

【質問】箕輪スキー場の再開に向けた対策は。

【企画財務課長】事業者と継続して協議を続けており、一部前向きな話も出ている。早期再開については、町も望んでいることであり、引き続き一日も早い再開を目指して調整する。

【質問】猪苗代湖のラムサール条約登録を踏まえた取り組みは。

【企画財務課長】猪苗代湖の自然環境を守りつつ、その恵みを維持可能な形で利用し、後世に伝えていくことを推進する。

【質問】ふくしまDC(デステイネーションキャンペーン)本番の取り組みは。

【商工観光課長】町内各事業者の考えている企画や取り組みを集約し、効果的にPRする。また、鉄道利用客の周遊性を高める仕組みづくりも考える。

【質問】中ノ沢・沼尻温泉周辺の対策は。

【商工観光課長】湧水量や泉質は非常にいい温泉である。また、達沢不動滝や白糸の滝、東軍の戊辰戦争慰霊碑等、様々なコンテンツがコンパクトにまとまった魅力的な温泉地、観光地である。これらを活用しながら、温泉街の皆様とどのような取り組みができるか検討し、最善の方法を探りたい。



高温対策されたビニールハウス

Q. 農業振興対策は A. 親元就農者等も手厚く支援

【質問】ビニールハウス高温対策用シートへの支援は。

【農林課長】トマト用ハウスでは、集荷業者の方で補助を出しているという情報は承知しているが、町から直接農業者への補助は現在のところはない。また、高温対策に関して、国・県から補助などの支援という動きもない。

【質問】小規模農家に対策する支援が少ないのでは。

【農林課長】認定農業者、認定新規農業者などを対象とする補助が多いのは事実であるが、補助が採択されるかどうかは営業発展の計画内容がポイント化され、ポイントの高い方から採択されるものである。一概に小規模農家の方に対する補助が少ないというわけではない。

【質問】スマート農業に対する支援は。

【農林課長】後付けの農業操舵システムの導入に関する補助については、今年も、国・県の補助事業となっている。



ながとも ひろむ 長友 海夢



動画はこちら

Q. 移住サポーター制度の登録状況は A. 猪苗代町内在住の6名



移住サポーター募集チラシ

【質問】移住サポーターの制度概要は。

【商工観光課長】地域コミュニティの活性化や関係人口・交流人口の拡大を目的に、移住定住を後押しする制度。

【質問】どのような人にサポーターとしての登録を求めているか。

【商工観光課長】地域住民と移住希望者をつなぐ橋渡し役となる人、また移住経験のある人の登録を求めている。

【質問】今年度予定しているサポーターの活動内容は。

【商工観光課長】意見交換会の開催を予定しているほか、10月には郡山広域圏の移住体験ツアーでの講話や交流会への参加を予定。今後の活動内容は、サポーターと共に検討を進める。

【質問】移住に直結する住まいの課題への対応は。

【商工観光課長】各区長への調査や過去の実態調査をもとに、協力隊員が空き家の情報収集を実施。活用可能な空き家については、所有者に空き家バンクへの登録を働きかけている。

【質問】地域活性化起業人の成果状況は。

【商工観光課長】初年度「いなチャリ」のDX化や料金改定により売上が倍増。キックボードやワーケーションツアーを開始。体験学習の受入体制構築、補助金申請支援など実施中。

【質問】町内関係者から追加募集を求める声もあるが、募集予定や判断時期は。

【商工観光課長】地域活性化起業人の制度は、特別交付税により財政負担も小さい。観光以外の課題にも活用を検討しており、令和8年度当初予算までに必要に応じて判断する。

【質問】地域おこし協力隊の起業型募集の検討状況と実施の可否、時期の見通しは。

【企画財務課長】現在は町が優先するミッションを前提に募集しており、起業準備は隊員が勤務時間外に行う形として、起業型の導入は現時点で予定していないが、優先ミッションがなくなれば再考の可能性はある。

【質問】地域プロジェクトマネージャー制度の検討や準備の進捗は。

【総務課長】今年4月に磐梯町を視察。導入の背景や活動内容を調査。県にも相談し、活動内容や目標を明確にするよう助言を受けている。



ながさわ 長澤
みさお 操



Q. 箕輪スキー場の再開は
A. 事業再開に向け協議を進めている

【質問】箕輪スキー場の負債は。
【企画財務課長】専門家、弁護士等の力を借り、協議中であり理解頂きたい。
【質問】現運営会社（弁護士）との交渉経過は。
【企画財務課長】弁護士を通して多々確認している。まずは、事業を引き受けて頂ける事業者を正式決定し、実質的な交渉をしていきたい。
【質問】事業を引き受ける事業者は。
【企画財務課長】スキー場のノウハウのある事業者との協議を進めている。



再開を待つ箕輪スキー場

【質問】県、国への支援等の働きかけは。
【企画財務課長】現在は、合致するような支援はないと認識をしている。
【質問】今後の町の考えは。
【企画財務課長】状況が見えないと言うことで、大変申し訳なく思う。解決に向け全力で取り組んでいきたい。

【質問】プレミアム商品券の実績は。
【商工観光課長】換金額の42・3%が小規模店で利用され、事業継承や消費の下支えということと町の活性化に寄与している。
【質問】そば祭り実行委員会のあり方や取り組みは。
【農林課長】令和6年度はカメリーナ会場と町内そば屋さんの二本柱で実施。町内の店舗でも、そばを食べて頂くため、3000円のプレミアム付5000食分を発行し、好評であった。
【質問】「ひでよくん号」の利用状況は。
【商工観光課長】土日祝日のみ40日間運行している。前年対比で163%となり、非常に効果のある取り組みと思う。

【質問】農業生産者への支援と実績は（災害対応を含む）。
【農林課長】生産にかかわる支援、農業経営の発展に必要な支援、多面的機能の維持発展のための交付金、中山間地域の生産不利地域への4つの主な支援を実施。
【質問】小規模農家や後継農家等への支援は。
【農林課長】支援には補助要件があり、それが基本であり、ご理解を頂きたい。
【質問】ガーナ国との姉妹都市協定の内容は。
【企画財務課長】大使館を通じて、両自治体の担当者間での協議を、今後進めていきたい。



すずき 鈴木
げん 元



Q. 令和6年度ごみ減量目標値と排出量は
A. 目標値3,950トンに対し排出量4,125トン

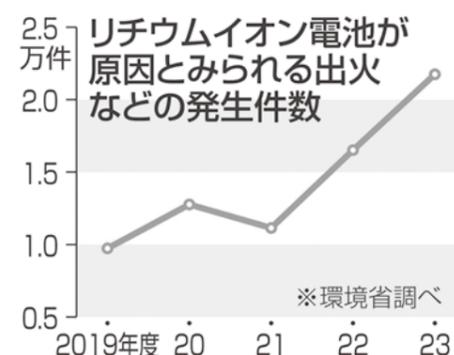
【質問】生ごみ処理機に対する補助実績は。
【町民生活課長】電動式生ごみ処理機購入補助が11件分で18万5200円。
【質問】予算枠を超過した場合の予算規模の拡充は。
【町民生活課長】申請件数が当初予算枠を超えた場合、補正予算対応により拡充を図る。
【質問】来年3月に供用開始となる新環境センターでは、災害廃棄物1日16トンを利用するごみ焼却に対する2年間の時限措置が開始されるが、住民生活への影響は。
【町民生活課長】1日16トン分を上乗せした場合、本町のごみ排出目標量は4064トンとなる。61トン減量しなければ災害廃棄物枠を超過するが、直近で46トン減少しており、このままの減少傾向で推移すれば、排出目標量を確保できる見込み。



建設中の新環境センター（令和7年9月撮影）

【質問】本町の一人当たりのごみ排出量は、令和5年度において県内ワースト6位である。課題解決に向けた町長のリーダーシップも必要では。
【町長】ごみ減量化への啓発活動を継続し、行政と町民・事業者がごみ減量や分別への意識を共有しながら、みんなで地域のごみ減量化や資源ごみへの転換を図っていく事が大変重要と考えている。

【質問】ごみ処理に対する状況の変化を加味し、一般廃棄物処理基本計画の総括、変更、見直しも必要ではないか。
【町民生活課長】令和7年度は計画期間の中間年度にあたる事から、基本計画策定委員会を開催し、計画の点検・評価を行う。
【質問】回収後の廃棄プロセスは。
【町民生活課長】リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池に分類し専門業者へ引き渡す。
【質問】拠点収集の実施や、周知啓発についての見解は。
【町民生活課長】衝撃や外気温等に影響されやすく、危険な廃棄物であるため、常に監視できる場所での回収が最適と考える。ごみカレンダーや広報紙、町ホームページを活用して広報・周知に努める。



委員会レポート

広報広聴常任委員会

広報及び広聴・町村議会研修会

【概要】
三重県玉城町、オンデマンドバスは、東京大大学院と協働でコンピュータを使ったシステムづくりをした。オペレーターは、利用者の乗車場所、目的地、時間を選ぶ事で、コンピュータが候補を表示する。乗客はこの中から第一希望を選ぶ。1日の運行スケジュール管理の大部分をコンピュータが行う。10代の利用者も塾へ通う片道の利用などもあるとのこと。

【愛知県阿久比町】
幼保小中一貫教育は、平成17年度に元教育長が1町1中学校の利点を生かし、九つの幼稚園・保育園、四つの小学校、中学校で行われる保育や教育に一貫性を持たせようとしたもの。幼稚園・保育所から中学校までを見通す「段階なき教育」、小・中学校入学時点でのスタートをそろえる「段落なき教育」を行い、義務教育の出口である15歳には「自らを律し、実践していく生徒」「社会で役立つ学力、必要な人間性と健康な体力」といった育成を目指した。このプロジェクトは家庭や地域

【町村議会広報研修会】
7月1日、郡山市ビッグパレットふくしまでの研修会に参加した。全国広報コンクルの審査員などを務める金井茂樹氏を講師に迎え、「戦略的広報と議会報づくりの型」と題し研修が行われた。研修会の最後には、議会報クリニックが行われ、猪苗代町議会だよりの評価は、全体として「良」の判定をいただいた。今後も引き続き、地域住民に、議会の制度・仕組み・役割を知ってもらい、さらには議会の活動を理解・納得していただけるよう考え、広報誌作成に努めてまいりたい。



広報研修

総務文教常任委員会

元気バス「ICTを活用した地域公共交通」・幼保小中一貫教育

【概要】
三重県玉城町、オンデマンドバスは、東京大大学院と協働でコンピュータを使ったシステムづくりをした。オペレーターは、利用者の乗車場所、目的地、時間を選ぶ事で、コンピュータが候補を表示する。乗客はこの中から第一希望を選ぶ。1日の運行スケジュール管理の大部分をコンピュータが行う。10代の利用者も塾へ通う片道の利用などもあるとのこと。

【愛知県阿久比町】
幼保小中一貫教育は、平成17年度に元教育長が1町1中学校の利点を生かし、九つの幼稚園・保育園、四つの小学校、中学校で行われる保育や教育に一貫性を持たせようとしたもの。幼稚園・保育所から中学校までを見通す「段階なき教育」、小・中学校入学時点でのスタートをそろえる「段落なき教育」を行い、義務教育の出口である15歳には「自らを律し、実践していく生徒」「社会で役立つ学力、必要な人間性と健康な体力」といった育成を目指した。このプロジェクトは家庭や地域

【意見】
元気バスは、東京大大学院が滋賀県で都市計画の一環として実証実験を行っている情報を得て、実現の手助けとなった。運賃は無料なので、無理な要望は受け付けないのが強みだと感じた。阿久比中学校の生徒数は1200人のマンモス校にもかかわらず、子供たちの礼儀が正しく、また落ち着いて授業を受けている。それは、地域の方が保育園の頃から見守り、登校時に声かけ、地域の方の指導が大きく影響していると考えられる。



安心・元気な町づくり「玉城町元気バス」

会津若松地方広域圏市町村整備組合

令和7年8月議会定例会

【概要】
伊奈町は住民サービスのDX化を積極的に推進している。「書かない窓口」は、マイナンバーカードや運転免許証を記載台に読み込ませることで氏名や住所が自動的に転記される。記入負担や待ち時間が大幅に減少し、コロナ禍での混雑緩和にも効果があつた。住民票等のコンビニ交付サービスは、住民票、印鑑登録証明、所得証明や課税・非課税証明の交付が可能で、職員の窓口負担軽減にもつながっている。町域が小さくコンビニが生活インフラとして機能している地域において特に効果が高いと感じた。

【長野県小諸市】
ごみ減量化の取組として、資源回収報奨金制度や有料化の導入、食品ロス削減に向けたフードバンク等を推進している。また、市民を対象に「ごみ減量アドバイザー」を養成し、講座やイベントで啓発活動を行っている。不要品リユース事業については、昨年7月から開始し、広報誌等の周知により認知度を高めている。

会津若松地方広域圏市町村圏整備組合議会定例会が、8月8日から8月21日に行われました。条例案件の「整備組合環境センター条例の一部を改正する条例」では、新ごみ焼却施設の整備に伴い施設の位置を変更するため、所要の改正措置を講じ、契約案件の「会津若松消防署城南分署大規模改修工事請負契約の一部変更について」では、庁舎屋上防水工事において想定以上の劣化が確認され、防水工法の一部変更が必要となったことから所要の追加工事を行い、44万5000円を増額し変更後契約金額を2億8312万6000円とするものです。令和7年度一般会計補正予算は、歳入歳出ともに増額し、総額180億8994万5000円となりました。

一般会議の募集について

町政に関して、議員と意見交換をしませんか。
議会事務局（0242-62-5666）までお問い合わせください。



マイナンバーカード等の読み込みで氏名等が自動的に転記される記載台

【意見】
伊奈町の住民サービスのDXと小諸市の循環型ごみ処理の事例は、いずれも地域課題に応じた工夫で成果を上げている。本町においても、利便性と効率化を両立しつつ、地域特性に合った施策を展開し、住民が安心して暮らし続けられる環境づくりを進める必要があると感じた。



わたしたちの町 ～猪苗代高校での学び～



たなか えれな
田中 絵玲奈 さん (猪苗代高等学校)

私は猪苗代高校に入学し、さまざまな活動をおして地域と深く関わる事ができるようになりました。

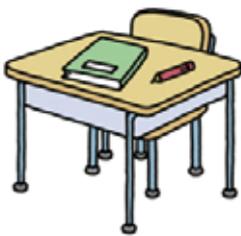
その一つが地域探究活動です。私はウチダザリガ二班として活動し、ウチダザリガニを駆除するだけではなく、美味しく調理して体験入学などの学校の行事で提供しています。

校外では、福島大学との高

大連携事業「社会課題自分ごと化プログラム」に参加し、他校生と一緒に地域活性化に繋がるフィールドワークを行いました。

これまでの活動を振り返ると、猪苗代町や地域をより深く理解できるようになり、なによりも自分自身が成長できたことを実感しています。

11月1日(土)には本校で「学びの収穫祭」が開催されます。私たちが取組んでいるさまざまな地域探究活動の成果を披露しますので、ぜひ猪苗代高校に足をお運び下さい。



第4回議会報告会を開催します

日時 令和7年11月9日(日)
午前10時～11時30分
場所 猪苗代町役場3階 正庁
内容 9月定例議会について
意見交換

※議場見学も予定しています。
お気軽にお越しください。

傍聴においで下さい

12月議会は
12月2日(火曜日)
開会予定です。

【一般質問予定日:8日(月)・9日(火)】

場所:猪苗代町役場3階 議場

※質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

議会を理解していただくためにも、議会は、活動のいっそうの活性化と、表現力豊かな広報紙の作成が必要であり、委員一同全力で編集に取り組みました▼11月には新たな試みとして、小学校6年生による「子ども議会」が開催されることとなりました。小学校の頃から議会に関心を持つていただくことを期待しつつ、どのような意見や質問が出てくるか楽しみにしております▼今年は、全国的に猛烈な暑さでした。それでも猪苗代は都市部と異なりエアコンなしで夜が過ごせ、水道の水も美味しく飲めます。豊かな自然環境と併せ町にとって大きな財源です。町発展の大きなチャンスと捉え、どのように活かすか知恵を絞っていきましょう。

渡辺 真一

広報広聴常任委員会 (広報担当)

委員長	星野 あけみ
副委員長	五十嵐 ミエ子
委員	山内 浩二
委員	大高 佐代美
委員	佐藤 英一郎
委員	渡辺 真一郎
委員	関沢 和人